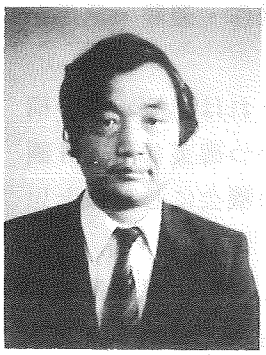
昭和61年4月 (1)

明大昭和会
建設不動産部会報

第5号



『防災計画について思うこと』

A＋A建築企画設計事務所
代表取締役
久　田　晃（35年工卒）

災害は忘れたころにやってくるというが、つい最近も火災の大惨事が熱川で発生した。過去にも大惨事となった原因は、早期発見に必要な防災設備の不備か、設置されていたとしても日常の点検が完全ではなかったため、機器が正常に作動しなかったことがほとんどであった。幸いにも、超高層建築で、映画“タワーリングインフェルノ”のような大火災はまだ経験していないが、もし発生したとしても、現在の建築基準法や消防法等による設備・規制で最小限の被害で食い止めることができるか？　できるとすれば、それはすべての防災機器が作動し、防災センターで適切な誘導を行い、住人もそれに冷静に従い、そしてダクト・配管等の防火区画への貫通部の穴うめ処理が完全に施工されている場合である。

高層建築は、低層一般建築より、より以上の細かい防災設備が各種法令で義務づけられている。しかしそれは設計・施工に置きかえてみると、現状は防火区画・排煙設備による数多くのシャッター・防火戸そして各種のダンパー等が防災設備機器との連動運動とからんでたいへんに複雑になっている。

火災が発生したとき、これらの複雑な一連の操作を人間の手で行うことはとうてい不可能である。当然コンピューターにたよらざるをえない。又、これら数多くのシャッター・防火戸・防災機器をつねに正常に働くように維持管理することは予想以上にたいへんなことである。

一方、火や煙の上階への伝播の原因となるダクトや配管等の防火区画への貫通個所は非常に多くの数となり、それを完全無欠に処理することは、これまた、たいへんなことである。できたとしても竣工後の工事で穴をあけ、復旧を忘れるケースが多いのである。

また、これらの複雑で、数多い防災設備を的確に判断し、誘導できる人が常時防災センターに詰めているとも限らない。消防隊も急に防災センターにはいり込んできて複雑な設備を理解し、指揮誘導できるとも思えないのである。

以上のことから、少しでも防災機器・センサーそしてダクト・配管の防火区画への貫通個所をへらすことができれば、複雑さが減り、操作・避難・誘導が単純になり、日常の維持管理も容易となる。

では、どうすれば前記のようなことが少しでもできるか、それは建築本来の構造を防災時に有効であるように考えることにより完全で、かつ確実な防災計画が見いだせるのではないか。具体的には紙面の関係から次の機会にしたいと思います。

火災が起きるたびに、設備面の強化を要求するのではなく、もっと関連機関が横の連絡をとり、構造的防災計画を指導し、防災設備をもっと単純で確実な方向にもっていくのはどうだろうか。

以前、オーストラリアで仕事をしたとき経験したことであるが、防災設備に関して、法令では最小限の規制をし、ほかの設備・構造については、その建物の用途・構造・建築計画に適した防災計画を建築計画の当初から指導していた事を思い出している。

新築なった明大『大学会館』に於いて　新年賀詞交換会

昭和60年度活動報告

６０．４．１ ～ ６１．３．３１

６０．　４．２２　役員会　於／鈴木不動産
総会の準備打合せ

６０．　４．２３　第２回総会　於／ミユキビルホール
出席者４９名
庄司部会長の挨拶に始まり、昭和会の山根代表幹事の祝辞、議事を終え、丸山藤夫氏（３４・商）の講演「建設産業における異業種交流について」があり、懇親会では交流を深め、最後に校歌斉唱で締めくくった。

６０．　５．２９　役員会　於／鈴木不動産
総会の反省、勉強会の打合せ。

６０．　６．２５　第１回勉強会　於／東京プラザビル会議室
松岡榮八氏（２８・商、藤和不動産）を講師としてお招きし、「有利な等価交換方式について」と題し、とても分りやすく講演をしていただき、会員諸氏からも熱心な質疑があり、大変有意義な勉強会でした。

６０．　７．　２　役員会　於／鈴木不動産
勉強会の反省、納涼パーティーの打合せ、「会報」４号の打合せ

６０．　７．２３　役員会　於／鈴木不動産
納涼パーティの準備、「会報」４号の準備、第２回勉強会の打合せ。

６０．　８．　８　納涼パーティー　於／ホテル・グランドパレス
出席者５３名
昨年同様今回もグランドパレスで「ビア・ビア・パーティー」を催した。玉田先生、宝井琴鶴氏、他部会々長も駆けつけて下さり、講談あり、オークションありで、和気あいあいの内に終った。又、夫婦同伴が８組あり、会場内に花を添えてくれました。

６０．　９．　９　役員会　於／鈴木不動産
納涼パーティーの反省、名簿発行打合せ、役員変更の検討、第２回勉強会打合せ

６０．１０．２３　明大昭和会総会　於／ホテル・グランドパレス

「２１世紀は我々の時代」という山根代表幹事の挨拶に始まり、岡野加穂留教授の講演、マンドリン演奏等があり役員改選では新代表幹事に山田勝氏（４２・商）が就任、当部会からは久田　晃氏（３５・工）が副代表幹事に就任された。

６０．１１．５　第２回勉強会　於／東京プラザビル会議室

前回大変好評の松岡榮八氏に再度講師をお願いし、「土地信託と土地有効利用」と題して勉強会を行いました。又、映画「大空間曲面構造に挑む」他も大変好評でした。

６０．１１．２７　役員会　於／鈴木不動産

第２回勉強会の反省、新年賀詞交歓会の打合せ

「会報」第５号発行の件　名簿発行の件

６１．１．１８　役員会　於／大学会館談話室

新年賀詞交歓会の準備

６１．１．２１　新年賀詞交歓会　於／大学会館・校友センター

出席者７０名

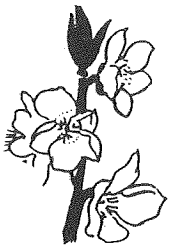
新しい年に相応しく、明治大学創立１００周年記念事業で建設された大学会館の校友センターにおいて盛大に催された。各テーブル毎のテーブルマスターを中心に自己紹介が行われ、１分間スピーチでは自社を売り込み、恒例となったオークションでは木村　勤氏（４４・経営）の名オークショニアぶりに拍手が湧いた。最後は永沼明彦氏（４１・農、応援団ＯＢ）の音頭で校歌斉唱で幕を閉じた。

６１．２．３　役員会　於／大学会館　談話室

新年賀詞交歓会の反省、名簿（改訂版）の内容検討、「会報」５号の件、オークション売上金処理の件

６１．３．２７　役員会　於／鈴木不動産

第３回総会打合せ、「会報」５号内容検討



60年度決算報告

収入の部		支出の部	
(1) ６０年度会費	336,000円	(1) 通信費（切手・封筒等）	36,020円
(2) 総会会費	98,000	(2) 印刷代（案内状等）	228,000
(3) 勉強会懇親会費	66,000	(3) パーティー費	
(4) 納涼パーティー会費	327,500	（総会～新年会）	661,380
(5) ６１年新年賀詞交歓会	412,000	(4) 講師謝礼	50,000
(6) 雑収入	1,000	(5) 横断幕	20,000
(7) 利息	1,518	(6) 雑費	1,680
(8) 前期繰越金	115,580	(7) 次期繰越金	360,518
計	1,357,598	計	1,357,598

※ 別途に納涼パーティー、新年賀詞交歓会でのオークション売上代金１４７,７５０円があります。

※ なお会報第５号及び新名簿の印刷代は今期決算には含まれておりません。

上記の通り報告致します。

昭和６１年３月３１日

財政部長 兼松紘一郎

財務部より

６１年度会費納入のお願い

本会も３年目をむかえることになりました。会員もふえ、会報の発行、勉強会、親睦パーティ等活動の幅も拡がってきました。本年はますます案内状、会報、名簿の印刷発送等の機会もふえる事と思われます。これ等は全て会費によってまかなわれますので、是非６１年度会費納入に御協力下さい。

すでに６１年度分の会費を納入されている方もありますが、未納の方は下記へお振込下さい。なお、総会に御出席の方には当日徴収させていただきますのでよろしくお願いします。

第一勧業銀行新宿西口支店
年会費　3,０００円
普通預金０６２－１７０３８８９
明大昭和会建設不動産部会

新年賀詞交換会に参加して

第一産商㈱ 常務取締役
中　山　雄　介（３５年商卒）

久しぶりにお茶の水駅に降り、駿河台へ歩いて行くと、懐しい母校の校舎が見えてきた。学生時代のことを思い出しながら会場へ入った。私は入会して半年なので顔見知りは少ないが、出来るだけ多くの人にご挨拶をし、お話しをさせていただいた。同窓ということで、初対面の人とも、最初から打ち解けて本音の会話が出来、その上、同じ業界の人々の集りなので、密度の濃い情報交換が出来、大いに有意義であった。現代は情報が全てを制すると言いますが、正に情報化時代に相応しい会であると痛感しました。又先輩後輩がそれぞれの職場で、ご活躍のお話しを聞き大いに刺激を受けました。

会の趣旨が「情報交換」ということですが、当会は世間一般の会社・業界の集りと違い、胸襟を開いた同窓の人々の集りであり、学生時代の気分にも浸ることが出来る。即ち実利と親睦の両面を兼ね備えた非常に素晴しい会であると思います。今後、新規会員を多く誘い大いに参加させていただくつもりです。

最後になりましたが、当日はオークションなど面白いイベントを企画していただき、又日頃会の運営に大変ご苦労をいただいている役員の方々に深く感謝いたします。

建設不動産部会・新年会に参加して

㈱丹青社 第３営業部々長
上　条　　茂（４４年政経卒）

大変すばらしい大学会館での賀詞交歓会に参加し、楽しくも、痛い？（チャリティバザーの出費が）ひとときを過ごさせていただきました。

いつもながら、庄司会長を始めとする役員皆様のご苦労に、多謝いたす所であります。会長のご挨拶にもありましたが、当業界は必ずしも明るい見通しではなく、むしろ荒波も覚悟しなければならない状況であると思われます。しかしながら、この時こそ「明大魂」で乗りきろうではありませんか。荒天に避難する事なく、テクニックを労さないで、真直ぐつき進むのが、明大らしくていいではありませんか。私の勤務しております㈱丹青社も内装業と云う荒天をつき進み、今年は、いよいよ上場を予定いたす所までこぎつけました。社内において、数では稲穂（ワセダ）より少な目ですが、「質の高さと、あつかましさ」で、明大ＯＢは、一大勢力となっております。全員、社のため明大のため燃えております。

今年は、昭和会主催の勉強会、会合にじゃんじゃん参加し、大いに愛校精神を発揮し、友好の輪を広げたいと思います。

末筆になりましたが、皆様方の今年のご健闘をお祈り申し上げます。

地方だより （全国に広げよう会員の輪!!）

『札幌だより』

片柳建設㈱札幌支店長
片　柳　良　一（４０年工卒）

早いもので、札幌に来て７年が過ぎました。最近、人口が１５０万人を超え京都市を抜いて５番目に入った。少しづつ人口もふえている若い都市です。四季の変化もはっきりとして、住み心地良い都市です。そんな都市で、主に住宅の建築、販売等に従事しています。

さて、北国は何といっても冬の寒さと雪の厳しい自然との戦いがあります。積雪は一冬で1.5ｍ程度で、北陸の豪雪からすると問題ではないが、それでも雪の期間は、全ての動きが半分になってしまいます。広い道路も除雪で狭くなり、莫大な除雪予算がかかります。市民は、店先や通路の雪かきが朝の仕事になり、北国特有の道具類が金物屋の店先に並びます。住宅にもいろいろな特徴、工夫があります。凍害防止の為、基礎は６０cm以上埋め、給排水管も断熱材で保温します。建物も高断熱、高気密化が進み、サッシも２重、３重と、むしろ東京の冬よりも室内は暖かく快適です。

しかしながら、冬という季節のハンデに加え、札幌はいわゆる支店経済といわれるように、地場産業が少なく、円高の影響をまともにうける企業が少ないような状態で、経済的な活性が不足しているようです。不動産の購売力も、いま一つでここ数年価格も安定しています。地方都市の自立が叫ばれて久しい所です。

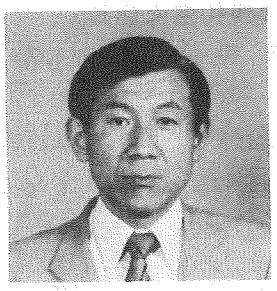
それでも一方では、公害らしいものも少なく、身近に自然が豊富で、夏は海水浴かキャンプが手軽で、冬は、あちこちにある立派な温水プールで楽しめ、又近くのゲレンデで１日中スキーができる。

今、あちこちで問題の自然をとるか発展の為の開発をとるか、身近かな生活の中に、そのバランスのむづかしさを感じながら、何とかがんばっております。

札幌において、お役に立てる事がありましたら御一報ください。

『あづみ野』の紹介

塚田不動産㈱代表取締役
塚　田　清　光（３９年商卒）



明大昭和会が発足したのが昭和４７年、その翌年、入会させて頂き、更には、建設・不動産部会に入会させて頂き、いろいろお世話になっているのにも拘らず諸々の会合、催し等に出席せず、本当に申し訳なく思っております。

そして、この度、事務局より『地方だより』をとのお声をかけて頂き、重ねがさね恐縮に思っております。卒後、地方に住んで２０余年の月日が経たのにも拘わらず、折々の会報、お知らせ、案内、交遊等のお陰で母校明大はいつも身近に感じております。

さて、私の住んでいるところは長野県の中心、松本市の近郊『安曇野（あづみの）』でございます。３町４ケ村にまたがる『あづみ熱』の呼称は昔からあったようですが、古くは臼井吉見の紹介に始まり、また、川端康成の学者村（穂高温泉郷）の紹介、まさに“自然は生きている”の一言につきるところでございます。そして、観光、行楽、ロケ等のメッカとして、この『あづみ野』のイメージはぐーんとあがったのでございます。

白銀に輝く北アルプス山脈の八方屋根スキー場、白馬乗鞍国際スキー場等々、変化に富んだ幾数十ものスキー場への玄関口、日本の屋根と云われている北アルプス連山への登山ルートの玄関口、山峡に湧き出るいで湯の穂高温泉郷、奥飛騨温泉郷等、数多くの温泉地への玄関口、秘境の立山黒部アルペンルート、野麦峠、上高地、等々の観光地への玄関口となっている『あづみ野』。数百年来の村人の哀歓を物語っている道祖神、日本にたゞ一つしか発見されていない神代文字が彫られている道祖神、平安調の双体像の道祖神等、『あづみ野』は道祖神愛好者のメッカともなっており、観光バスや個人の参拝者、研究家等、多数の人が訪れております。また、１０年前、皇太子ご夫妻がご訪問されて以来、日本の観光ルートの１つになった日本一を誇る広大なわさび農場がございます。４月中ば頃にはわさびの白い花が咲き始め、北アルプスの残雪と相俟って、その潔白さを競うが如く、それはそれは見事なものでございます。『これぞ、これが自然との触れあいだ!!』との感慨に浸ることができるのです……。

そして、このわさび田の南脇に１軒の農家（戸主、山崎山二）があり、この家にそれはそれは大変にお世話好きでお人好しの“もの知りばあさん”がおります。『あづみ野』に関することならなんでも知っているいわゆる“生字引”の“もの知りばあさん”でございます。この“もの知りばあさん”以前はわさび農場の観光客相手に昔ながらの素朴な茶店を開いていたのですが、今は年で閉店しました。しかし、閉店した今でも、この『あづみ野』を愛するいろいろな珍客、例えば、某元首相のお抱え画家、タレントさん、カメラマン、大学教授、ＮＨＫ他各テレビ局の取材班、等々、それはいろいろの人々が訪れてくれております。かつては我らが先輩、宮田輝先生、それから、講談家の宝井琴鶴師匠（学生時代から交際させて頂き、現在でもいろいろお世話になっているところでございます。）などは、昔も今も再三、来訪されております。また、私の学生時代（応援団在籍）の先輩、後輩、友人等、訪ねてきては昔の学生時代の話に花を咲かせております。ちなみにこのお人好しの“もの知りばあさん”は私の義母でございます。もし、皆様方の中で、いつの日か当地を訪れる機会がございましたら、ぜひお立寄り下さい。歓迎致します。

さて、当地『あづみ野』にも活躍されているＯ・Ｂはかなりおりますが、私共は明大校友会松本支部に属しており、支部長宮坂真一（野球部Ｏ・Ｂ、全国高校選抜野球大会選考委員）、副支部長藤原一二（応援団Ｏ・Ｂ、明大校友会評議員）のもと、事ある毎に一致団結、そのまとまりの良さは他校Ｏ・Ｂ諸氏のうらやむところでございます。また、当地区では３年前より、東京６大学のＯ・Ｂ会を毎年１回、盛大に開いており、昨年は我が明大がその当番校でございました。そして、アトラクションと致しまして、マン・クラのＯ・Ｂ諸氏２０余名が全国各地より馳せ参じて頂き、その名も高き古賀メロディ他の演奏をして頂きました。また、老人クラブの慰問、グァム島戦没者慰霊並びに戦友会の集いにも参加して頂き、非常な感動を受けました。Ｏ・Ｂ会にマン・クラのＯ・Ｂ諸氏のゲスト出演とはなかなかのシャレた趣向であると、他校から非常な好評を頂き、アンコール・アンコールの連続でそれはそれは大変なものでした。私はマン・クラＯ・Ｂ諸氏が額に汗して一生懸命奏でる一連のメロディを聞きながら、遠い学生時代の苦しくもあり、楽しかった甘ずっぱい数々の思い出を回想しつゝ、第１４回昭和会総会堀内実行委員長の言、『激動する社会の流れ、また、うねりというものを見失うことなく、常に新鮮に、前向きに、社会のために明大健児は“正義の鐘”を、高らかに打ち鳴らし、そして、堂々と生き抜いてビジネスで成功したいもの』、との認識を新たに痛感したことでした。

とりとめもなく、『あづみ野』を紹介させて頂きましたが、何卒、よろしくお願い致します。最後に、昭和会はもとより、当部会のより一層のご発展をお祈りして失礼させて頂きます。

明大昭和会に入会して

ＡＯＩ（アオイ）建築設計事務所代表取締役
池　田　勝　也（３７年工卒）

私は卒業してこゝ数年前までは明大卒業であることをあまり意識したことがなかった。私の歩いた世界がそんなに学閥意識が少ない世界であったのかもしれないが、私自身の心の中にも母校意識が薄かったこともあるかもしれない。

ところがこゝ近年は変化しだした。まず４年前ぐらいに東京青年会議所のＯ・Ｂで明大出身者の会“東京紫紺会”に入会したことだ。こゝで多くのすばらしい先輩や仲間との出合いがあった。このあたりから急速に母校意識が芽ばえはじめた。その後明大昭和会からのお誘いを頂いて数はまだすくないがますます母校意識が高まって来たように思う。私が卒業した工学部建築科は私が１０回生であるので、この明大の歴史の幅を感じることが出来なかったのかもしれないが、他の学部を見ると大変な歴史をもっている。お恥ずかしい次第ですが、それを他の学部の人に触れることによってようやく体で感じたのである。そこには全く新しい発見や出会いに胸を踊らされる。明大出身というベースでのお付合いであるから、何か共通の根をもった安堵感がある。昭和会に参加してますますそのすばらしい出会いを期待したい。それが又自分自身を変化させる原動力になるのだ。

ヒマラヤ山麓 酒の旅

㈱鈴木不動産代表取締役
鈴木正彦（40・経営）

「レッサンフィリーリー、レッサンフィリーリー、ウーレラゾンキ、ダーラマバッソンレッサンフィーリーリー」　酒臭い息をプンプンさせながら、タイコと手拍子と大合唱の中を粗末な服を身にまとい，マフラーとも手ぬぐいとも似つかぬものを首に巻きつけて，手振りよろしく比較的スローなテンポでシェルパ達が赤々と燃えるストーブの回りを踊り出す。周囲でロキシーという酒を飲みながらシェルパソングを唱っているのは２０才前後の若い男女達だ。

先程、通訳のアショカの仲人で我々の仲間のＫさんと無理矢理（？）三三九度の盃を交わし結婚式を挙げたばかりの「クマリ」という名のクマリ（少女という意味）が踊り出した。Ｋさんも慌てて飲みかけのグラスを放り出し、クマリのあとを追いかける。クマリは盛んに「スンダラケッタ、スンダラケッタ」を連発する。「いい男」と言う意味だそうだ。因に「いい女」のことは「スンダリケッティ」と言う。（「踏んだり蹴ったり」と覚えれば良い。）

私の友人に瓜二つのシェルパがしわがれ声で唱い且つ踊りながらＴ女史のもとに「一緒に踊りましょ。」と誘いに来た、最初　恥ずかしいと照れていたＴ女史も我々が強引に押し出した為か渋々と踊り出した。シェルパがステップや手振りを教えても仲々上手く踊れない彼女。が、突然、皆の注目を浴びて狂ったように踊り出した。回りの者達は「ワーッ」と歓声を上げる。そう、彼女は徳島の女「阿波踊り」の名手なのでした。

夜遅くまで大騒ぎしている連中を注意しようと思ったのか，ベレー帽を被ったポリスが入口につっ立ってこちらの様子をじっと伺っている。「カムヒヤプリーズ，ロキシープリーズ」と招き入れて酒をすすめるが、職務中のせいか、「ノーサンキュー」と首を横に振るだけ。仕方なく彼を放っておいて再び日本＝ネパール親善パーティが始った。しばらくして明大ワンダーフォーゲル部ＯＢのＵ氏が先程のポリスを強引に輪の中に引きずり込み、「夏も近づく八十八夜トントン」の調子で、ポリスとお互の手と手を打ち合いながら踊り出した。最初は面くらっていたポリスもだんだんリズムが分って来たのか、パチンパチンとお互いの手が赤く腫れ上る程、力いっぱいＵ

氏の手に自分の手をぶっつけている。観衆一同あっけにとられ，二人の踊る様を見ていたが、最後には腹を抱えて笑い出した。

踊り終って席に戻ったポリス氏、開口一番言った言葉が「ギブミー、ロキシープリーズ」だった。その後、益々雰囲気が盛り上ったことは言うまでもない。

私？……私も勿論踊りました。別のクマリとチークダンスを!? とに角、我々が日本＝ネパールの親善に大きく貢献したことは間違いありません。　時は1986年１月９日、ダウラギリ（8167ｍ）、アンナプルナ（8091ｍ）を指呼の間に望む、ヒマラヤ山中、ゴラパニ峠（2853ｍ）での出来事でした。

ネパールの人々の生活は、とても貧しいけれど、純真淳朴で大人しく、人なつっこい性格は日本人ととてもウマが合います。殊に子供達が無心に遊び、又、子供ながらに水牛やロバの世話をしている姿を見ると、日本での文明社会の豊さの中で失われていた大事な物を見つけたような、「本当の幸せとはこういうものなんだ」という深い感慨にとらわれてしまいました。

皆様も機会がありましたら是非一度、ネパールを訪ねてみて下さい。山の中に分け入らなくとも、名所旧蹟が至る所にあり、民芸品等も格安で良い物が購入出来、料理も大変美味です。それに「オシャカサマ」の生れた国のせいか、他の東南アジアの国々にある、いわゆる恥部のない、清潔な国です。私も、もう一度と言わず、何度でも訪ずれてみたいと思っております。

★★★★★★★★★★★★★★★★ 明大昭和会部会紹介 ★★★★★★★★★★★★★★★★

★★★★ 熱意のある方の積極的な参加をお待ちしています。お気軽に、各幹事までご連絡下さい ★★★★

□マスコミ部会
- 事務局＝木村　武（３９・法）
  オリコミベイツ第２連絡部長
  （０３－６６５－４９７６）

□建設・不動産部会
- 事務局＝鈴木正彦（４０・経営）
  鈴木不動産代表取締役
  （０３－３７０－８４５８）

□時宝部会
- 事務局＝前田昌彦（４２・法）
  エステート代表取締役
  （０３－８３１－２５３０）

□出版・印刷関連部会
- 事務局＝草階正夫（３５・法）
  エアハイツ印刷代表取締役
  （０３－３５６－５５１５）

□明席会（落語・講談に関係するＯＢ）
- 幹　事＝宝井琴鶴（３４・文）　講談家
  （０３－９３２－４３４３）

□レディースクラブ
- 幹　事＝佐藤満喜（２７・政経）東洋証券
  （０３－３５５－１０４０）
- 事務局＝白土裕子（５８・商）　東急建設
  （０３－４０６－５１１１）

□金融・保険部会
- 幹　事＝

□国際部会準備会
- 準備委員＝山田　勝（４２・商）
  ユニコンジャパン代表取締役
  （０３－５６２－４０３７）

□弁護士部会準備会
- 幹　事＝永塚　昇（３４・法）
  永塚法律事務所
  （０３－２３４－５１８１）

□ホテル旅館観光部会準備会
- 幹　事＝久田　晃（３５・工）
  Ａ＋Ａ建築企画設計事務所
  代表取締役
  （０３－４７５－０３９５）

□ファッション部会準備会
- 幹　事＝今井昌之（４１・政経）
  ぷるんぷあん工芸社代表取締役
  （０３－２０２－４３６７）

□食品部会準備会
- 幹　事＝堀内治夫（５０・政経）
  小川産業株式会社社長
  （０４７２－７５－０５６６）

□クラス・ゼミ・サークル連絡会
- 幹　事＝小澤　聖生（４２・農）
  ㈱食安専務取締役
  （０３－２１５－１２６１）

事務局だより

次の方々が役員に就任されました。（敬称略）

吉良　昭（５２・工）
沼田　傑（４６・経営）
望月章次（５０・商）

事務局　東京都渋谷区代々木２－１０－１０
㈱鈴木不動産内
ＴＥＬ（３７０）８４５８
編集責任者　鈴木康弘（３９・商）

新会員募集!!
仲間をふやし、より有効な情報交換をしましょう。どしどし御紹介ください。